

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成24年 6月 27日	
愛知県知事 殿	
提出者 住 所 名古屋市中区新栄二丁目1番9号 氏 名 株式会社フジタ名古屋支店 執行役員支店長 今井 信也 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 052-259-6000	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社フジタ 名古屋支店
事業場の所在地	愛知県名古屋市中区新栄2-1-9 雲竜FLEX西館4F
計画期間	平成24年度(平成24年 4月~平成25年 3月)
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06:総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高:358,000万円(前年度実績)
③従業員数	94人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類→再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化 木くず→再生処理業者に委託し、チップ・燃料として再資源化 混合物など→中間処理業者に委託し、選別を行い再資源化または最終処分 汚泥→中間処理業者に委託して脱水後、埋立処分 廃プラスチック類→再生処理業者に委託し、燃料として再資源化 廃石膏ボード→再生処理業者に委託し、原材料として再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
<p>(管理体制図)</p> <p>本社環境推進部</p> <p>↓</p> <p>副支店長 (環境管理責任者)</p> <p>↓</p> <p>建設廃棄物統括管理責任者</p> <p>↓</p> <p>工事現場管理責任者 (産業廃棄物管理責任者・特別管理産業廃棄物管理責任者)</p> <p>↓</p> <p>工事現場管理担当者 (産業廃棄物管理担当者) _____ 下請会社</p> <p>_____ 廃棄物事務局</p>		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度 (平成23年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙
	排出量	t t
	(これまでに実施した取組) 23年度は、県内工事の増加に伴い、発生量が増加した。 数量を抑制することは難しいので、再生利用を促進した。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙
	排出量	t t
	(今後実施する予定の取組) 新築工事において、 3R運動の実施 REDUCE (減量化) : 梱包材の簡素化、プレカット搬入 REUSE (再利用) : 解体材、使用済材を仮設材として使用 RECYCLE (再生利用) : 分別収集によって再資源化 環境パトロールによる活動状況のチェック (年1回) を実施する。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、スクラップ、ダンボール、石膏ボード等の分別を実施している。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 継続してコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、スクラップ、ダンボール、石膏ボード等の分別を実施するよう。小規模工事では敷地の問題等で、まだ分別徹底されていないので今後も分別の徹底を図る。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 23年度は、県内工事の増加に伴い、発生量が増加した。数量を抑制することは難しいので、再生利用を促進し、再生利用業者への処分委託量を増やした。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの産廃の排出は工事にともなうことから、数量を抑制することは難しい。したがって、発生量に対する再生利用業者への処分委託量を増やしていく。 ・優良認定処理業者を選定することを検討する。 			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

産業廃棄物の種類		がれき類(コンクリートがら)	がれき類(アスファルト・コンクリートがら)	がれき類(レンガ・破片等)	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類	混合廃棄物(安定型)	金属くず	紙くず	木くず	がれき類(廃石膏ボード)	
排出抑制	前年度排出量(実績)	15,716.8	415.3	284.9	32.6	38.0	25.6	0.3	2.0	320.3	39.1	
	本年度排出量(計画)	14,145.1	373.8	256.4	29.3	34.2	23.0	0.2	1.8	288.3	35.2	
自ら再生利用を行った(行う)量	前年度実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中間処理	自ら熱回収を行った(行う)量	前年度実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自ら中間処理により減量した(する)量	前年度実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量	前年度実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
処理の委託	全処理委託量	前年度実績	15,716.8	415.3	284.9	32.6	38.0	25.6	0.3	2.0	320.3	39.1
		計画(目標)	14,145.1	373.8	256.4	29.3	34.2	23.0	0.2	1.8	288.3	35.2
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	15,716.8	415.3	284.9	0.0	0.0	0.0	0.3	2.0	320.3	39.1
		計画(目標)	14,145.1	373.8	256.4	0.0	0.0	0.0	0.2	1.8	288.3	35.2
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【記載方法】

- ・各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績(現状)を下段に本年度の目標(計画)の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入し、下段に記載のそれぞれの内訳を記載してください。
- ・「自ら再生利用を行った(行う)量」の欄は、自ら直接再生利用した量と自ら中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・「自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分をした量を記載してください。

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

産業廃棄物の種類		繊維くず	汚泥	混合廃棄物 (管理型)	代採代根	石綿含産業廃棄物 (ガラス、陶磁器、安定)					合計
排出抑制	前年度排出量（実績）	0.4	4.2	152.4	26.0	31.0					17,088.9
	本年度排出量（計画）	0.3	3.8	137.2	23.4	27.9					15,379.9
自ら再生利用を行った（行う）量	前年度実績	0	0	0	0	0					0
	計画（目標）	0	0	0	0	0					0
中間処理 を行う	自ら熱回収を行った（行う）量	前年度実績	0	0	0	0	0				0
		計画（目標）	0	0	0	0	0				0
	自ら中間処理により減量した（する）量	前年度実績	0	0	0	0	0				0
		計画（目標）	0	0	0	0	0				0
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量	前年度実績	0	0	0	0	0					0
	計画（目標）	0	0	0	0	0					0
処理の委託	全処理委託量	前年度実績	0.4	4.2	152.4	26.0	31.0				17,088.9
		計画（目標）	0.3	3.8	137.2	23.4	27.9				15,379.9
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	0	0	0	0	0				0
		計画（目標）	0	0	0	0	0				0
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	0.0	4.2	0.0	26.0	0.0				16,808.9
		計画（目標）	0.0	3.8	0.0	23.4	0.0				15,128.0
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績	0	0	0	0	0				0
		計画（目標）	0	0	0	0	0				0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績	0	0	0	0	0				0
		計画（目標）	0	0	0	0	0				0

【記載方法】

- ・各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入し、下段に記載のそれぞれの内訳を記載してください。
- ・「自ら再生利用を行った（行う）量」の欄は、自ら直接再生利用した量と自ら中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・「自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分をした量を記載してください。